

# 平成30年度 本部事務局事業報告

## 1 事業の概要

当福祉会は、昭和50年の設立以来、朝霞市、志木市、和光市の広域的な社会福祉事業の主たる担い手として、安心・安全で多様な福祉サービスを展開し、地域福祉の向上に努めて参りました。平成30年度においても、「みつばすみれ学園」、「すずらん」の障害児・者の直営2施設をはじめ、「ほんちょう保育園」、「にいくら保育園」を和光市から委託を受け運営するとともに、朝霞市の指定管理者として「特別養護老人ホーム朝光苑」、朝霞市からの受託事業として「地域包括支援センター朝光苑」の運営を行いました。

### 福祉会を取り巻く環境変化に対応

法人運営においては、前任者の退任に伴う評議員1人と理事2人の選任を行いました。現制度に基づき遅滞なく適切に対応することができました。また、直営3拠点の施設運営と財務状況を関係3市へ報告する機会として、第1回目の決算報告会が8月に開催され、事業報告と決算状況並びに課題についての共有を図りました。

職員関係においては、職場環境改善の一環として、被服貸与の衣類と数量の見直しを行い適正化を図りました。また、通勤に係る職員負担の軽減と資源の有効活用のため、一部施設において最寄駅と施設間における送迎車輛の運行を開始いたしました。さらに、特別養護老人ホームの介護職員と看護師の待遇改善と人材確保のため、夜勤手当や看護師資格手当を見直し増額するとともに、看護師のオンコール待機に対する手当を創設いたしました。

職員の採用活動においては、学校への訪問活動（8校全21回）と、法人ホームページやインスタグラムを用いた学生への積極的な情報提供、並びに就職フェアへの参加（年3回）やハローワークでの面接会を行い、新卒者2人を含む年7人の採用をすることができました。

## 2 理事会等の開催

### (1) 理事会

開催年4回	開催日	決議事項
第147回	6月6日	第1号議案 平成29年度決算の承認について 第2号議案 食器洗浄機の購入に係る契約締結について 第3号議案 評議員の候補者案と評議員選任・解任委員会の開催について 第4号議案 定時評議員会の開催について
第148回	9月27日	議案 なし
第149回	12月26日	第1号議案 平成30年度補正予算について 第2号議案 朝光苑運営規程の一部改正について
第150回	3月26日	第1号議案 平成31年度事業計画について 第2号議案 平成31年度予算について 第3号議案 職員給与規程の一部改正について 第4号議案 被服貸与規程の一部改正について 第5号議案 臨時職員等取扱規程の一部改正について 第6号議案 保育園給食業務委託の契約締結について 第7号議案 朝光苑給食業務委託の契約締結について 第8号議案 朝光苑紙おむつの購入に係る契約締結について 第9号議案 朝光苑公用車リースの契約締結について 第10号議案 朝光苑空調機リースの契約締結について

## (2) 定時評議員会

開催回数	開催日	決議事項
1回	6月21日	第1号議案 理事の選任について 第2号議案 平成29年度決算の承認について

## (3) 評議員選任・解任委員会

開催回数	開催日	決議事項
1回	6月6日	評議員の選任について

## 3 監事による監査

開催回数	開催日	内容
3回	6月4日	決算監査 対象：全施設
	12月18日	中間監査 対象：本部事務局、みつばすみれ学園、すずらん
	1月21日	中間監査 対象：ほんちょう保育園、にいくら保育園、朝光苑

## 4 各種試験

### (1) 職員採用試験（平成30年度中の採用者7人）

募集職種	試験内容	試験日	試験結果
保育士	面接	平成30年10月30日	応募者：1人 採用者：1人
生活支援員	面接	平成30年11月26日	応募者：1人 採用者：1人
		平成31年2月13日	応募者：1人 採用者：1人
		平成31年2月18日	応募者：2人 採用者：1人
		平成31年3月6日	応募者：1人 採用者：0人
介護職員	面接	平成30年4月17日	応募者：1人 採用者：0人
		平成30年5月1日	応募者：1人 採用者：0人
		平成30年9月28日	応募者：1人 採用者：1人
		平成30年10月15日	応募者：1人 採用者：1人
看護師	面接	平成31年3月5日	応募者：1人 採用者：1人

## (2) 職員昇任審査・試験

審査・試験	内容	審査・試験日	結果
主幹級昇任審査	勤務評価	平成31年2月7日	候補者：8人 合格者：1人
主査級昇任試験	面接・論文	平成31年2月1日	応募者：2人 合格者：2人

## 5 職員数

(平成31年3月31日現在/単位：人)

施設名	理事長 施設長	事務員			保育士 児童指導員 生活支援員 介護職員		看護職員		栄養士	児童発達支援管理責任者 サポーター管理責任者 介護支援専門員 生活相談員 社会福祉士 運転手 等			合計	
		正規	正規	パート	正規	パート	正規	パート		正規	正規	パート	正規	パート
本部事務局	1	2	1(1.0)	—	—	—	—	—	—	—	—	3	1(1.0)	
みつばすみれ学園	1	1	—	5	13(9.1)	1	—	—	3	6(4.5)	11	19(13.6)		
すずらん	1	1	—	10	18(14.3)	1	—	—	1	—	14	18(14.3)		
ほんちよう保育園	1	1	—	10	23(15.0)	1	—	※2	—	—	13	23(15.0)		
にいくら保育園	1	※1	—	14	19(13.3)	1	—	1	—	—	17	19(13.3)		
朝光苑	1	2	2(2.0)	23	15(12.8)	3	3(2.8)	1	11	2(1.5)	41	22(19.1)		
合計	6	7	3(3.0)	62	88(64.5)	7	3(2.8)	2	15	8(6.0)	99	102(76.3)		

※1 ほんちよう保育園と兼務

※2 にいくら保育園と兼務

( ) は常勤換算の人数

# 平成30年度 みつばすみれ学園事業報告

## 1 事業の概要

平成30年度事業計画において、以下に示すとおり、運営を行って参りました。

### 利用状況

療育を希望する児童の受け入れを積極的に行うことに努め、年間の契約児童数は平成29年度の111人に対し118人と増加しました。定員に対する利用率は昨年度83.4%に対し80.3%でした。前半期の登録者数が前年度より少なかったこと、また、利用当日の体調による欠席等によるものです。

### 専門性の高いサービスの提供

保育士・児童指導員による日々の療育に加え、OT（作業療法士）、ST（言語聴覚士）、PT（理学療法士）等、専門職による幅広い支援を行いました。中でもOT（作業療法士）の必要性が高く、個別・集団・5歳児を対象とした幅広い支援が生活に活かされました。特に5歳児は就学を見据えて、長期的な取り組みを行った結果、生活力の獲得に繋がりました。

職場内研修では乳幼児の睡眠、食事、排泄など基本的な生活習慣について理解を深め、支援の質を高めました。

また、事業者・保護者による児童発達支援の自己評価を行い、運営・療育について現状の課題を明らかにし、改善に取り組みました。

### 地域支援の強化

近年、低年齢児の受け入れや保育所・幼稚園に在籍している支援が必要な児童の増加、在宅児童への支援などが継続した課題となっております。当園では、地域のニーズに対応すべく、県からの委託事業「障害児等療育支援事業」を継続実施するほか、「発達障害地域療育支援センター事業（南西部地域療育支援センター）」との連携などを通して、専門職による支援の提供を行いました。また、地域の保育所・幼稚園への訪問、来訪を密に行い、職員の障害特性理解の促進に努めて参りました。その結果、「障害児等療育支援事業」では、外来での相談件数などが76件、施設内の療育見学や保育所・幼稚園への職員派遣・情報交換などが86件、在宅児童への職員派遣が11件となり、順調に運営展開をしております。

## 2 主な事業の実施状況

### (1) 主な年間事業

月例事業	誕生会、地震・火災避難訓練、保護者と施設間連絡会、交流保育、身体測定、こころの発達相談・整形外科健診(月1回)、内科(2ヶ月1回) 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の指導(週1回・必要に応じ) 交流保育(朝霞市＝北朝霞保育園・泉水保育園、志木市＝北美保育園)
5月	クラス懇談会、児童検便(腸内細菌検査)、児童検尿、歯科検診
6月	
7月	七夕、父親学級
8月	彩夏祭鳴子踊り参加(朝霞市)、園外プール
9月	祖父母参観
10月	運動会(宗岡第三小体育館)
11月	クラス懇談会、児童検便(腸内細菌検査)、児童検尿、歯科検診
12月	もちつき会、クリスマス会

1 月	父親学級
2 月	豆まき、発表会
3 月	お別れ会、卒園式

## (2) 相談・会議等

相談等	①療育相談／来園・電話相談、個別・訪問・集団療育、健診、機能訓練 ②個別面談、クラス懇談会、保護者と施設間連絡会
会議等	①療育支援連絡会議(朝霞市・志木市・和光市) ②ケース検討会議、カリキュラム検討会議、クラス会議、職員会議 ③通園バス運行会議、給食検討会議
他機関等との交流	①埼玉県(発達障害者支援体制整備検討委員会)、朝霞・志木・和光市の関係会議(要保護児童対策地域協議会、育成保育関連会議、自立支援協議会、介護給付費等支給審査会、障害者プラン推進委員会等)へ出席 ②和光特別支援学校評議員会議へ出席 ③見学・実習、中学生職業体験(宗岡中、志木中)の受入れ ④地域の作品展等へ出展(太陽展、志木市総合福祉センターまつり、向陽祭、チャレンジ作品展等) ⑤施設便りの発行・配布(月1回)

## 3 利用状況

児童在籍状況(契約児童)

(月初在籍数：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	合計
朝霞市	37	38	40	42	42	44	45	46	46	47	48	47	522
志木市	25	27	31	31	31	31	34	34	36	35	35	35	385
和光市	24	24	25	26	26	26	26	27	27	28	28	28	315
合計	86	89	96	99	99	101	105	107	109	110	111	110	1,222
入所者数	13	9	4	1	3	5	3	3	2	1	1	0	45
退所者数	0	0	1	0	1	1	1	1	1	0	2	32	40

## 4 外部協力・援助等一覧

### (1) 寄附一覧(現金)

—敬称略—

H30/12/28	栗原友介	500,196円
H31/01/23	第一生命労働組合池袋総合営業職支部	12,000円
合計	2件	512,196円

### (2) ボランティアの受入れ

行事	夏祭り／運動会／もちつき会／クリスマス会 4団体58人		
通年	(保育・製作・付添い児) : 個人(6人)	193人	

### (3) 見学研修等受入れと職員派遣

	件名	実施日数	機関	延べ人数
受入れ	卒園・退園児の引き継ぎと相談	1日	1機関	4人
	学園療育についての見学と体験	16日	16機関	45人

	学園利用児の様子観察	5日	5機関	7人
	次年度就学児・移行児の様子観察	7日	6機関	18人
	学園見学(入園希望者、電話相談など)	107日	——	149人
	学生の受入(中学生職業体験、卒業論文など)	9日	3機関	24人
派遣	育成保育対象児の様子観察	9日	6機関	12人
	フォローグループの援助	12日	1機関	12人
	学園利用児の様子観察・情報交換	26日	11機関	27人
	学園概要・療育の説明	2日	1機関	48人
	巡回相談(学園以外)	7日	4機関	12人

#### (4) 実習受入れ

- ア 介護等体験実習 1学校 延べ 4人  
 イ 社会福祉施設実習 8学校 延べ12人 合計：9学校 延べ16人

### 5 障害児等療育支援事業実績 (療育相談利用状況)

【事業内容】在宅障害児(者)の地域生活支援。療育相談(電話相談/来園相談)、訪問療育、健診/P T訓練、幼稚園・保育所等との相互支援等(埼玉県受託事業)  
(延べ回数)

	①在宅支援 訪問療育等指導事業		②在宅支援 外来療育等指導事業			③施設支援 一般指導 事業	①～③ の合計	関係機関 との連携
	巡回相談	訪問健康診査	発達相談	療育	検診			
朝霞市	0	0	33	0	0	52	85	38
志木市	0	0	29	0	0	16	45	30
和光市	11	0	11	0	0	14	36	33
新座市	0	0	1	0	0	2	3	3
その他	0	0	2	0	0	2	4	1
合計	11	0	76	0	0	86	173	105
	11		76					

### 6 みつばすみれ学園障害児等計画相談支援センターの実績

【事業内容】障害者(児)等への相談やサービス利用計画の作成、モニタリング等の支援

#### (1) 対応件数(初回アセスメント件数)

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計
	特	児	特	児	特	児	特	児	特	児	特	児	特	児	特	児	特	児	特	児	特	児	特	児	
新規計画請求	2	12	2	12	1	8	3	8	1	7	0	12	0	11	1	7	0	7	1	1	0	1	0	4	101
更新計画案請求	4	29	3	18	3	16	3	10	4	19	3	24	1	27	2	24	4	20	1	18	1	23	1	51	309
モニタリング請求	7	30	9	36	9	45	5	44	6	53	3	34	6	52	6	47	7	50	6	24	6	40	5	46	576
合計	13	71	14	66	13	69	11	62	11	79	6	70	7	90	9	78	11	77	8	43	7	64	6	101	986

特：特定相談支援  
 児：障害児相談支援

## 7 南西部地域療育センターの実績

【事業内容】 専門職が個別療育やご家族への支援を行う埼玉県からの委託事業（地域療育センター事業）

(1) 配置専門職：臨床心理士、言語聴覚士、作業療法士

(2) 実績件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
連絡件数 合計	10	9	16	17	15	5	23	14	10	10	9	22	138
個別療育(A)	83	77	71	82	83	79	89	94	96	78	54	50	936
結果と方針の説明(B)	1	10	2	7	7	7	6	7	3	4	5	5	64
(A+B)	84	87	73	89	90	86	95	101	99	82	59	55	1,000

# 平成30年度 すずらん事業報告

## 1 事業の概要

平成30年度事業計画に基づき、運営に取り組んで参りました。

### 利用される施設となる

利用契約数につきましては途中入退所の変動により、年度末には58人となりました。年間の利用率は107.8%であり、昨年度112.9%からは5.1%減少の結果となっております。この背景には、個別送迎体制や利用時間延長等の利用促進の取り組みは継続していますが、利用者の状態像変化により、中高年層の要入院治療及び短期入所の利用回数の頻度や長期利用等により、欠席数の増加がみられましたが、日々は定員以上の利用人数で推移いたしました。

また、職員の欠員期間の影響等により、新規利用受入れ体制が整わなかった状況もありましたが、できる限り利用ニーズに応えられるよう、個別活動の充実や外出支援の取り組み等を継続して行って参りました。

### 個別支援及び介護・相談体制の充実

利用者の心身状況、家庭背景等により、その利用ニーズは異なってくるため、個別支援に重点をおき、利用者・保護者へのアセスメントには十分に時間をとり、また、いつでも相談できるような環境作りに努めてきました。

個別対応の中では単なる作業では無く、利用者の意図を十分にくみ取るよう、達成感を第一義として、家庭生活にも反映するような行為及び残存機能向上に向けた日常生活動作や、他者との関わりを積極的に行う機会を継続的に行うよう、施設内の喫茶活動や外出活動において、自ら発声し挨拶を交わす練習や、身振り等サイン表出の表現方法を伸ばしていけるよう、日々の支援で実践をしてきました。

また、保護者と施設間連絡会や個別面談を通じて、家庭の状況、利用ニーズの把握に努め、担当する相談支援専門員との連絡を密接にし、情報の共有化を図りました。

今後も利用者・家族の抱える不安材料の軽減に結びつくよう、支援計画の質の向上と、相談援助技術の充実を図って参ります。

## 2 主な事業の実施状況

### (1) 主な年間事業

月例事業	誕生会(毎月末に各グループ毎に実施)、地震・火災避難訓練、身体測定 製作品販売、音楽療法(隔月)、嘱託医診察等/内科・精神科・整形外科 理学療法(週1回)
4月	出発式・歯科検診
6月	スポーツ&レクリエーション大会・検便(腸内細菌検査)
7月	七夕
8月	彩夏祭鳴子踊り参加(朝霞市)・スイカ割り
9月	定期健康診断(胸部レントゲン、血液検査を含む)
10月	検便(腸内細菌検査) 合唱ボランティア
11月	すずらん祭り
12月	もちつき大会 クリスマス忘年会
1月	初詣 書き初め

2月	豆まき カラオケ演芸大会
通年	希望制小旅行／年間12回 延べ49人 三富今昔村・ラウンドン朝霞・国技館大相撲観戦・難波田公園・としまえん・原宿散策・ららぽーと富士見 等 ※夏祭りについては台風の影響により中止となりました。

## (2) 会議等

施設内会議	①職員会議(毎月) ②給食会議(年3回) ③通所バス運行会議(毎月) ④ケース支援・打ち合わせ会議(毎日) ⑤個別支援計画会議(随時) ⑥支援グループ会議(随時) ⑦保護者と施設間連絡会議(年3回) ⑧衛生委員会 ⑨身体拘束廃止/事故防止委員会 ⑩医療的ケア委員会
関係機関会議	①関係市担当者と施設間連絡会議(年2回) ②4市医療職ネットワーク会議(年3回)

## 3 利用状況

### (1) 市別在籍状況(契約利用者数)

(月初在籍数：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年月	2月	3月	合計
朝霞市	20	20	20	20	20	20	18	18	18	18	18	18	228
志木市	29	29	28	29	29	29	29	29	29	29	29	29	347
和光市	10	10	10	10	10	10	10	10	10	11	11	11	123
合計	59	59	58	59	59	59	57	57	57	58	58	58	698
入所者数	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
退所者数	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	3

### (2) 障害程度別内訳

(H30.4月末：人)

療育手帳 所持者	療育手帳 のみの者	身体障害者手帳を併せ持つ者						合計	
		1種1級	1種2級	1種4級	2種1級	2種4級	2種5級		
Ⓐ	46	14	19	8	1	1	1	2	32
A	7	7	0	1	0	0	0	0	1
B	3	2	0	0	0	0	0	1	1
無し	3	0	2	0	0	0	0	0	2
合計	59	23	21	9	1	1	1	3	36

※車椅子使用者21人

## 4 外部協力・援助等一覧

### (1) 寄附一覧(現金)

—敬称略—

期日	寄附者	金額
06/02(スポーツ&レクリエーション大会)	和光ライオンズクラブ	5,000円
11/10(すずらん祭り)	志木ライオンズクラブ	10,000円
	和光ライオンズクラブ	5,000円
12/27	栗原友介(嘱託医報酬分)	250,098円
合計	4件	270,098円

(2) 地域との交流

通 年	新河岸川「川の国応援団美化活動団体」清掃活動実施 朝光苑車いす清掃活動(毎週)
09/09	朝光苑まつり 作品販売
09/18	志木市民生委員地区定例会 作品販売
10/05	人権フェスティバル(草加市) 作品販売
11/03	すわ緑風園祭り展示(施設紹介と作品展示)
12/03～	障害者週間：和光市チャレンジド展示
12/08	志木市障害者理解促進事業イベント(施設紹介と作品展示)

(3) 実習生受入れ

中学生職業体験	延べ 9 日	3 学校	延べ 15 人	志木中・朝霞一中・朝霞三中
保育士養成実習	延べ 28 日	2 学校	延べ 28 人	秋草学園短期大学・帝京大学
看護実習	延べ 3 日	1 学校	延べ 30 人	朝霞准看護学校

(4) 施設見学者(関係機関)

04/04	朝霞市障害福祉課	04/17	朝霞市ひまわり工房
04/18	朝霞市ひまわり工房	05/23	朝霞市障害福祉課
08/01	和光特別支援学校教員研修 3人	08/02	和光特別支援学校教員研修 3人
08/17	和光南特別支援学校教員研修 1人		

(5) ボランティア受入れ

通 年(茶道・組ひも・畑)	個人(4人)	延べ75人	06/02 (スポレク大会)	個人(3人)	延べ 3人
10/03 (合唱コーラス)	1団体(17人)	延べ17人	11/10 (すずらん祭り)	5団体 個人(6人)	延べ30人
12/08 (もちつき)	1団体(20人)	延べ 19人	02/16 (カラオケ演芸大会)	個人(2人)	延べ 2人

(6) その他

年12回	朝霞市美容師組合ボランティアの会による美容整髪(希望者対象：有料)
------	-----------------------------------

# 平成30年度 和光市ほんちょう保育園事業報告

## 1 事業の概要

平成30年度事業計画にあげた事業の目標に基づいて取り組んできました。

### **安全に配慮した環境提供と健やかな成長への支援**

0歳児、1歳児は、保育室が同室であることから特に衛生面には気を配るとともに子どもの成長に合わせ、部屋の使い方や玩具等のチェックを行い、成長にふさわしい環境を提供してきました。2歳児以上は、一人ひとりが意欲をもって安全に取り組みができるよう生活の動線を考えた環境整備をしました。また、一人ひとりの心情や体調面についても担任中心に把握を行うとともに職員全体で共有できる体制を取りました。

### **人との関わりの中で自分と人を大切にすることを育てる**

0、1歳児については他人と関わる最初の段階であり、出来るだけ保育者の顔ぶれは変えることのないよう、安定した人環境の中で過ごせる様に配慮をしてきました。2歳児は他児と遊ぶことにより楽しさを知り、また、思うようにならないことがあることを知るとともに、保育者に気持ちを受け止めてもらい、自他の気持ちの違いを理解するきっかけづくりをしました。3歳児以上においては、年齢クラスを基本に異年齢で関わる機会も設定し、折り合いをつける気持ちを育み、また、地域のお年寄りとの交流や園を利用する障害をもった一時保育の子ども達と触れ合うことにより、自分と相手との関係について、考える機会を多く持たせるようにしてきました。

### **様々な体験を通し豊かな感性と創造性を培う**

日々の保育の中で、音楽については、音に親しむ機会をつくって、乳児期には様々な音を楽しみ、幼児期には楽器やリズム、音階を知ることができるようにしました。また、体の発達において、成長と共に良好な発育が図られるよう、運動プログラムを意識的に取り組んできました。

食事を中心とした食育については、給食のメニューから食材が体のどこの栄養になっているかを知ったり、畑での野菜作りやそれらを使った調理保育により興味を広げるよう配慮してきました。味噌や梅干しなどの保存食作りは、保護者も興味を持ち一緒に参加する方もおりました。

また、絵画や工作なども、感性、創造、工夫など自由な発想で取り組めるよう、様々な材料を用意し保育を推進してきました。

### **施設と保護者が子どもの成長について共通理解をもつ**

園生活や取り組みについて理解を深めるよう、「保育参加」や「行事参加」により、子ども同士の関わりや好きな遊びなどについても実感して頂きました。これらの取り組みはとても好評で、夫婦で参加される方もいました。また、懇談会では年齢発達についての説明と日常の様子を撮った映像を見て頂き、クラスの様子などを伝えてきました。個別面談では保護者の子育ての悩みなどを聞き取り共有しながら、園と家庭との連携に努めてきました。

在園以外の地域の親子においては、園開放事業（あそぼう会）で、園内での親子遊びや子育ての情報などを提供するとともに、市内保育園の入園を意識している方からの見学希望も全体件数は66件と昨年度より増えてきました。これからも保育園を知って頂く機会となるよう見学などは積極的に受け入れていきます。

## 2 主な事業の実施状況

### (1) 主な年間事業

月例事業	火災避難訓練（毎月）、地震避難訓練（隔月）、防犯訓練（3回）消防署等立ち合い訓練（火災1回、防犯1回）、誕生会、布団乾燥、市内保育園関係会議（事業者連絡会議、看護業務会議、栄養士会議、幼保小連絡協議会、心の教育推進委員会会議）、3～5歳児異年齢グループ活動、園だより、クラスだより、献立表、保健だより
4月	5歳児親子遠足 4歳児親子遠足
5月	全クラス懇談会
6月	ありがとうの日、お泊まり保育
7月	保育園運営委員会、じゃがいも掘り、七夕、流しそうめん、わっこまつり
8月	彩夏祭鳴子踊り参加（4、5歳児）、大規模地震を想定した児童引き取り訓練
9月	お月見、おじいちゃんおばあちゃんの日
10月	運動会、サンマ焼き会
11月	焼き芋会
12月	発表会、お餅つき会、お楽しみ会
1月	0～2歳児 クラス懇談会、
2月	5歳児クラス懇談会、節分、保育園運営委員会
3月	ひなまつり、卒園式、県警指導班立ち会い防犯訓練、入園説明会、卒園思い出遠足

### (2) 児童の健康管理

- ・ 身体測定（毎月）、内科健診（5月、11月）、歯科検診（6月）、乳児健診（隔月）、尿検査（11月）
- ・ 手洗い指導、（看護師） 対象／3・4・5歳児

### (3) 地域交流事業

- ・ あそぼう会（園開放事業）／年16回、利用親子延べ41組 / 入園前見学 54人
- ・ 行事地域招待／わっこまつり、運動会
- ・ 心の教育推進活動あいさつ運動（1週間）／4月、9月、1月
- ・ 本町保育クラブと5歳児との交流（2回）
- ・ 地域高齢者の喫茶サロン（市のウェルカム事業）と5歳児との交流（3回）
- ・ 朝光苑デイサービスセンターと5歳児との交流（2回）
- ・ 絵本とお話の会（ボランティアによる）5月～31年2月・9回…2～5歳児対象

### (4) 特別保育事業

- ・ 保育参加 前期（5月～8月頃）38人 後期（9月～12月頃）75人

### (5) 実習生・ボランティアの受入れなど

- ・ 保育実習生（3校） 4人
- ・ 裁判所調査官研修 4人
- ・ 職業体験（2校） 9人（和光第二中、和光高校）
- ・ ボランティア 5人 / 5歳児の茶道体験指導ボランティア 1人

### (6) 職員研修

- ・ 職場内研修 わらべうた研修、研修報告
- ・ 派遣研修 県社協キャリアアップ研修（初任者、中堅職員）

保育所保育指針、乳幼児ふれあい遊び、埼玉県保育研究大会  
保護者支援、人権問題、和光市主催保育士研修

### 3 利用状況

#### (1) 児童在籍状況

月初日在籍児童数 開園日数 293日 (土曜日 49日)

月 対象	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年 1月	2月	3月
0歳児	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
1歳児	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
2歳児	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
3歳児	22	22	22	21	22	20	21	22	22	22	22	22
4歳児	22	22	22	22	21	21	21	21	21	22	22	22
5歳児	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22
合計	99	99	99	98	98	96	97	98	98	99	99	99

(単位：人)

平均利用率	： 98.4%	土曜日平均利用者数	： 12.1人
-------	---------	-----------	---------

#### (2) 育成一時保育事業

(単位：人)

月 人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年 1月	2月	3月	合計
登録人数	14	16	17	18	19	19	20	20	20	20	21	21	—
利用延人数	25	12	20	33	41	18	29	38	39	35	35	47	372

平均利用率	： 50.8%
-------	---------

# 平成30年度 和光市にいくら保育園事業報告

## 1 事業の概要

平成30年度事業計画にあげた下記の目標に基づいて取り組んできました。

### **安心で安全な保育環境を提供する**

保育園内の環境整備はもちろん、保育士の配置人数を適切に行い、子どもたちにとっても保護者にとっても安心で安全な保育園を目指して取り組んできました。早朝から時間外保育までの利用者は多く、土曜日保育も毎週一定数が利用されています。保育士の適切な配置のために、職場定着に向けて取り組み、保育士の質の向上を目的に研修機会も積極的に取り入れました。

保育環境として3歳児から5歳児は4グループ編成での異年齢保育の取り組みを行っています。年数を重ねてきた取り組みであり、にいくら保育園の特徴として保護者の皆様にも理解していただいています。保育士以外に頼れる年長児がいることで安心感が提供出来たり、年長児もかつて自分が世話されてうれしかったことを年少児にやってあげることで自分に自信を持つことができるなど子どもたちの関係性が成長に大きく関わっています。グループが違う子ども同士でも自然と大きい子は小さい子を思いやるなどの姿も見られ、子ども同士の関わりから興味関心が広がり、遊びの内容が深まっていくこともあります。2歳児未満の子どもたちには発達に応じた遊びや活動を提供することを意識し、時には少人数に分かれて活動するなど柔軟に活動を行いました。

### **健康な体作りをしていく**

健康な体作りをしていくために外遊びや体を動かす活動を積極的に取り入れました。また、子どもたちの体調に応じて薄着を心がけました。また、健康な体作りに大切な食育の取り組みの一環として畑に苗を植え、野菜を育て収穫しました。収穫した野菜を使い、調理保育も行いました。栄養士から話を聞く機会を設けたり、季節に合った食材を使って『梅シロップ』や『梅干』を作るなど食材に興味関心を持つような取り組みも行いました。看護師が中心になって手の洗い方指導や歯磨き指導なども行い、健康を意識する機会を設けました。

### **子どもの成長発達について保護者との共通理解を深める**

保育園の様子をわかりやすく丁寧にお伝えするよう努めました。懇談会では動画を見ていただいたり、日々の保育のお伝えに写真を使うことなども取り入れました。保育園の様子を知っていただく機会である「保育参加」は30年度は89人に参加いただきました。全体の4分の1がお父さんの参加で、少しずつ増えてきています。保護者の行事への参加やお手伝いの機会などもあり、いろいろな場面で保育園の様子を知っていただき、自分の子どもだけでなく、友だちとの関わりなども様子を見ていただきました。

30年度は障がい児保育対象児が6人在籍しました。医療的な配慮が必要な児童が入園され、初めて訪問看護師が定期的に保育園に来る事になりました。保護者との信頼関係の構築を大事に考え、関係機関との協力を今まで以上に密接に行いました。この児童だけではなく、課題を持つ児童についての情報は園全体で共有して丁寧に支援しました。保護者への情報提供や児童状況の共通理解に向けて、保護者と細やかな相談や面談を行いました。

地域の子育て世帯向けの支援事業である園開放事業（あそぼう会）は繰り返し参加される方が多く、気軽な相談の場として活用していただいています。入園前の見学希望者にはできるだけ保護者の希望に合わせた受け入れを行いました。小規模保育所からの転園を検討して見学される方が増えていて、年間を通して97人の見学者がみえました。

## 2 主な事業の実施状況

### (1) 主な年間事業

月例事業	火災避難訓練（毎月）、地震避難訓練（隔月）防犯訓練（3回）、 消防署等立会訓練（火災1回、防犯1回）、布団乾燥、誕生会 市内保育園関係会議（事業者連絡会議、看護業務会議、栄養士会議、幼保 小連絡協議会、心の教育推進会議） 園だより、クラス・グループだより、献立表、保健だよりの発行
4月	進級式、懇談会（0歳～2歳）、5歳児園外保育
5月	懇談会（3、4、5歳）、園庭で遊ぼう会（1、2歳）、4歳児園外保育
6月	保育園運営委員会
7月	お泊り保育（5歳児）
8月	彩夏祭鳴子踊り参加（4、5歳児） 大規模地震を想定した児童引取り訓練（市内小学校と同日）
9月	世代間交流
10月	運動会、個別面談（4歳児）
11月	にいくらおやこフェスタ、個別面談（1、5歳児）
12月	発表会（3、4、5歳児）、もちつき会、個別面談（0、2歳児）
1月	小学校交流（新倉小学校）、保育園運営委員会、個別面談（3歳児）
2月	懇談会（全クラス）
3月	思い出遠足（5歳児）、卒園式、入園説明会、お別れ会、 学童クラブ交流（新倉）

### (2) 児童の健康管理

- ・ 身体測定（毎月）、内科健診（5月、11月）尿検査（11月）、乳児健診（隔月）
- ・ 歯科検診 6月
- ・ 手洗い指導、歯磨き指導（看護師）

### (3) 地域交流事業

- ・ 園開放 年30回実施・延べ参加親子75組
- ・ ミニ講座（予約制で4回実施） ※感染症流行で中止あり 延べ参加親子24組
- ・ 和光病院交流（4歳児・5回実施）※天候や感染症の流行で中止あり
- ・ 和光市 福祉の里交流（5歳児・3回実施）※天候や感染症の流行で中止あり
- ・ 絵本の読み聞かせ（ボランティア「ひまわりクラブ」8月を除く月1回）
- ・ 心の教育推進活動あいさつ運動  
※市内小中学校との共同事業として各学期の開始時期に1週間ずつ実施

### (4) 特別保育事業

- ・ 年末保育（12/29 4人）
- ・ 親子支援教室「クローバーグループ」年9回
- ・ 保育参加（5/14～1/31 延べ参加人数89人）

### (5) 実習生・ボランティアの受け入れ

- ・ 保育士実習 3校・4人
- ・ 育児支援員実習 2日間・1人

- ・ 裁判所調査官実習 2日間・4人
  - ・ 中学生・高校生職業体験学習 16人（市内中学校3校・和光高校）
  - ・ ボランティア 延べ26人（インターンシップ含む）
- ※ 入園前の事前見学 97人

### （6）職員研修

- ・ 職場内研修 AED講習、研修報告会
- ・ 派遣研修 県社協キャリアアップ研修（初任者フォローアップ、中堅職員）  
リスクマネジメント、児童虐待、和光市主催保育士研修

## 3 利用状況

年間開園日数 292日（内土曜日 48日）

月初日在籍児童数(育成児童／2歳児1人・3歳児2人・4歳児1人・5歳児2人)(単位：人)

月 対象	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年 1月	2月	3月
0歳児	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
1歳児	15	15	15	15	14	15	15	15	15	15	15	15
2歳児	19	19	19	19	19	19	18	18	18	18	18	18
3歳児	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	29	29
4歳児	28	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29
5歳児	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
計	130	131	131	131	130	131	130	130	130	130	129	129

平均利用率	：	106.1%	土曜日平均利用者数	：	19.6人
-------	---	--------	-----------	---	-------

※転居による退園7月1人、9月2人、1月1人、3月1人

# 平成30年度 朝光苑事業報告

## 1 事業の概要

平成30年度の事業計画において、以下に示す事業目標を掲げ運営を行いました。

### 利用される施設となる(利用率の向上)

利用率の状況は、介護老人福祉施設(特養)	(目標)96%	(結果)90.6%
短期入所生活介護	(目標)86%	(結果)86.0%
デイサービスセンター	(目標)85%	(結果)85.5%
居宅介護センター	(目標)105件/月	(結果)68件
地域包括支援センター	(目標)120件/月	(結果)138件

介護老人福祉施設(特養)では、待機者の最新情報や新規申込者の実態把握、また、多職種による入所判定会議を取り入れ早期入所を促すことで、利用率は前年度と比較して1.7%増加しましたが、目標とした利用率の達成はできませんでした。この要因としましては、朝光苑が多床室であること、また、施設の老朽化が進んでいる中で近隣に新しい施設が増加したこと等により待機者が減少傾向にあることなどが考えられます。今後も目標利用率向上を目指し、施設の快適な居住環境づくりをはじめ、待機者の最新情報の迅速な把握やショートステイ利用者の情報をリンクするなどにより利用率向上を目指してまいります。

短期入所生活介護(ショートステイ)では、空床を利用した障害者短期入所の取り組みや、利用者情報の把握などにより、利用率は前年度と比較して11.3%増と大きく向上し、目標利用率を達成することができました。引き続き、空き情報や地域の居宅介護支援センターなど介護関係者への啓発などにより利用率の維持向上を目指します。

デイサービスセンターでは、新規利用者獲得に向けてセンターの啓発やサービスの充実などを図った結果、利用率は前年度と比較して1.0%増加し目標をクリアいたしました。引き続き、一人ひとりがご家庭にいる時と同じようなくつろげる空間作りを心掛けるとともに、介護予防の観点から心身機能の維持に力を入れたサービスを提供することで、地域で選ばれるセンターにしてまいります。

居宅介護支援センターでは、今年度も介護支援専門員の人員確保ができず、ケアプランの目標件数をクリアできませんでした。引き続き、人材確保に力をいれ人員補充し、目標件数を達成できるよう目指してまいります。

地域包括支援センターでは、新しい総合事業開始による介護予防ケアマネジメント事業をはじめ、地域包括ケアシステムの構築に向けて、生活支援サービス体制の整備事業、認知症施策の推進事業、地域ケア会議推進事業など様々な事業を市と連携して推進いたしました。

課題となっていた包括支援センター主催の地域ケア会議を開催いたしました。今後さらに生活支援整備のための協議体の創設などを実施してまいります。

### 介護保険制度改正の影響

平成30年度は3年毎の介護報酬の改定などがありましたが、その主な視点として、地域包括ケアシステムの推進、自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスの実現、多様な人材の確保と生産性の向上、介護サービスの適正化・重点化を通じた制度の安定性・持続可能性の確保などが盛り込まれ、介護報酬改定率は全体で0.54%増となりました。

このうち、デイサービスセンターでは基本報酬の減額がありましたが、朝霞市の地域区分が変更されたことなどにより、大きな影響は受けませんでした。

今後におきましても、制度改正に適切に対応するとともに、新設された加算などについてはできるだけ取得し、安定的な運営を目指してまいります。

## 2 各事業の実施状況

### (1) 主な年間事業

入所者・利用者の健康管理に資する事業、季節感を感じてもらえるような行事やレクリエーション活動、また、各種委員会などを実施しました。

区分	介護老人福祉施設（特養）	デイサービス	その他
月例事業	誕生会、注文買物、店屋物の日、理髪、音楽療法、口腔衛生指導(以上は月1回)、嘱託医健診(内科/週1回、精神科/月2回)、理学療法(月2回)、特養ラインカンファレンス(年18回)、新入所者ラインカンファレンス(年16回)、優先入所検討委員会(月1回)、身体拘束廃止委員会(月1回)、感染症対策委員会(年4回)、給食委員会(年4回)、痰吸引安全委員会(年4回)、褥瘡対策検討委員会(年4回)、事故防止対策委員会(年4回)	誕生会、PTリハビリ、体重測定、デイ定例会議(月1回)、事故防止対策委員会(年12回)、感染症対策委員会(年4回)	朝光苑運営会議(月1回)、衛生委員会(月1回)、苑だより発行(年4回)、地域包括定例会議(月1回)
4月	苑外活動(お花見散歩)、料理クラブ	お花見(新座緑道)	
5月	菖蒲湯、端午の節句、ショッピング、苑外散歩、民謡演奏会、保育園訪問(にいくら保育園)	菖蒲湯、外出レク100歳お祝い	苦情解決委員会、一斉緊急メール訓練
6月	料理クラブ、ピアノ演奏会、ボーイスカウト交流会	梅ジュース作り	全体会議、職員健康診断
7月	七夕飾り、ショッピング、上の原町内会夏まつり	外出レク、スイカ割り	火災訓練、
8月	彩夏祭花火見学、料理クラブ		地震訓練・ストレスチェック
9月	朝光苑まつり(家族参加)、苑外活動(ぶどう狩り)	ブドウ狩り	
10月	料理クラブ、民謡、歯科検診、胸部レントゲン撮影、ショッピング、苑外活動(保育園訪問・向陽園祭作品展示)	サンマ焼き	夜間火災避難訓練
11月	苑外活動(黒目川散策、回転ずし、市博物館)、インフルエンザ予防接種	外出レク	職員インフルエンザ接種、緊急メール訓練
12月	年末お楽しみ会(家族参加)、ゆず湯、料理クラブ、ピアノ演奏会、白百合園交流会	年末お楽しみ会、ゆず湯	全体会議、地震訓練 職員健康診断
1月	正月遊び、書初め	餅つき	
2月	料理クラブ、豆まき	豆まき	防犯訓練(向陽園)
3月	ひな祭り	外出レク、100歳お祝い	職員腰部健診、一斉緊急メール訓練

### (2) 利用状況

朝光苑各事業の平成31年3月31日現在の利用状況は以下のとおりです。

#### ①介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

(ア) 在籍状況等 (単位: 人、%)

(定員 75 人)

月 人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
当月初	69	70	68	69	73	70	70	72	70	71	72	73	—
入所者	1	1	2	5	1	1	2	0	1	1	1	0	16
退所者	0	3	1	1	4	1	0	2	0	0	0	1	13
(内, 看取り)	0	1	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	5
当月末	70	68	69	73	70	70	72	70	71	72	73	72	—
月別利用率	90.2	88.0	86.9	87.4	89.9	92.1	89.7	91.4	90.6	91.9	93.7	95.1	90.6

※ (目標利用率: 96%・年間利用率: 90.6%)

(イ) 男女別構成

区分	男	女	計
人数 (人)	16	56	72
割合 (%)	22.2	77.8	100

(ウ) 介護度別構成

※平均要介護度: 4.18

要介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数	1	4	13	18	36	72
割合 (%)	1.4	5.6	18.0	25.0	50.0	100

(エ) 年齢別構成

※平均年齢: 85.7 歳

年齢	60~69歳	70~79歳	80~89歳	90~99歳	100歳以上	計
人数 (人)	1	13	32	24	2	72
割合 (%)	1.4	18.0	44.5	33.3	2.8	100

(オ) 在苑期間別構成

※平均在苑期間: 3年1ヶ月

期間	6ヵ月未満	6ヵ月~1年未満	1年~3年未満	3年~5年未満	5年~10年未満	10年~20年未満	20年以上	計
人数 (人)	7	8	25	18	12	1	1	72
割合 (%)	9.7	11.1	34.7	25.0	16.7	1.4	1.4	100

## ②短期入所生活介護事業 (ショートステイ)

(ア) 高齢者・障害者別利用状況等 (単位: 人、%)

(定員 14 人)

月 人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
利用者	高齢者短期	34	36	35	35	35	31	33	35	30	30	35	36	—
	介護予防	2	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2	2	—
	障害者短期	3	5	6	4	4	6	3	2	4	4	4	3	—
延べ 人	高齢者短期	323	365	339	359	362	308	329	319	309	288	290	303	3,894
	介護予防	11	5	8	8	6	10	10	12	4	10	20	20	124
	障害者短期	32	37	30	33	33	38	38	31	32	28	18	25	375

数	計	366	407	377	400	401	356	377	362	345	326	328	348	4,393
月別利用率		87.1	93.8	89.8	92.2	92.4	84.8	86.9	86.2	79.5	75.1	83.7	80.2	86.0

※1日平均利用者数：12.0人（目標：利用率86%・年間利用率：86.0%）

### ③デイサービスセンター事業

(ア) 利用状況等（単位：人、%）開所日/298日（定員25人）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数													
利用契約者	69	72	70	70	72	68	73	79	81	78	78	75	—
内、通所相当サービス	12	12	12	12	14	16	19	22	20	20	20	18	—
延べ利用者数	510	518	557	533	577	512	561	550	549	505	483	534	6,389
内、通所相当サービス	68	59	64	64	77	66	73	92	103	92	80	81	919
月別利用率	81.6	86.3	85.7	82.0	88.8	81.9	83.1	91.7	91.5	84.2	84.0	85.4	85.5

※1日平均利用者数/21.4人（目標：利用率85.0%・平均利用率：85.5%）

### ④居宅介護支援センター事業

(ア) ケアプラン作成件数（単位：件）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数													
居宅介護支援件数	63	67	70	68	67	67	66	67	66	68	67	70	806
介護予防支援件数	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	14
認定調査件数	0	0	1	2	0	2	1	1	0	2	1	0	10

※(目標件数：105件/月・月平均：68件)

### ⑤地域包括支援センター

(ア) ケアプラン作成件数（単位：件）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数													
介護予防支援件数	143	140	145	141	137	134	136	133	138	139	139	131	1,656
内、介護予防・日常生活総合事業ケアマネジメント	70	71	72	71	66	69	70	67	71	67	67	63	824
訪問型及び通所型サービスC	0	0	1	0	0	1	0	0	3	1	0	1	7
住宅改修理由書作成件数	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	3

※介護予防支援件数(目標：120件/月・月平均：138件)

(イ) 包括支援センター業務

業務	主な実績等
総合相談・支援業務	相談業務(8,434件) 地域支え合いネット講座(2回・参加者66人)
権利擁護業務	高齢者虐待研修
包括的・継続的ケアマネジメント業務	ケアマネージャー支援講座(1回)

介護予防ケアマネジメント業務 (第1号介護予防支援事業)	要支援者のケアプラン作成
在宅医療・介護連携推進業務	多職種による地域支援ネットワークの構築 在宅医療・介護連携推進会議(7回)
生活支援体制の整備業務	生活支援コーディネーター配置(1名) 生活支援コーディネーター会議(15回) 地域民生委員情報交換(11回) 地域のつながりを考える学習会(3回)
認知症施策の推進業務	認知症サポーター養成講座(6回・参加者296人)、 オレンジカフェ(11回339人) 認知症初期集中支援チーム検討会(12回) 認知症地域支援推進員(12回) 認知症徘徊声かけ訓練 in 東洋大学(1回・参加者103人)
地域ケア会議	市主催地域ケア会議(12回) 包括主催地域ケア会議(2回)
一般介護予防事業	朝霞1中体操教室(12回・延べ参加者210人)

### (3) 外部協力・援助等

#### (ア) ボランティア受け入れ

区分	介護老人福祉施設(特養)	デイサービス
団 体	4団体(虹の会、楽脳体操、しずくの会、すずらん)	1団体(十六酔会)
個 人	29人	7人
活 動 内 容 等	延べ人数:810人 月平均:68人	延べ人数:53人 月平均:4人
レクリエーション活動	書道クラブ、詩吟クラブ、大正琴クラブ、踊り、体操、ギター演奏、ピアノ演奏、傾聴、ウクレレ演奏	書道、踊り、音楽活動、フルート演奏、マジックショー、落語、囲碁
生活支援活動	シーツ交換、おむつたたみ、洗濯物たたみ、縫い物、車椅子清掃、散歩の付添、行事手伝い	

#### (イ) 地域との交流等

交 流	上の原町内会盆踊り・新年会、朝霞ボーイスカウト慰問、朝霞第1中学校生徒七夕飾り、野田ピアノ、コーラスとフラダンス、向陽園ふれあいの集い作品出展、白百合幼稚園クリスマス交流、朝霞マンドリンアンサンブル、栄町保育園、和光市ほんちょう保育園(法人内交流)、ひだまりの森保育園
体験ボランティア	朝霞市社会福祉協議会ワークキャンプ、桐朋高等学校
職 業 体 験	朝霞第1中・第4中学校

### (4) 実習生の受入れ

朝霞准看護学校(16人)	教員特例法介護体験(6人)	十文字学園女子大学(4人)
--------------	---------------	---------------

東洋大学(1人)	文京学院大学(1人)	労働介護(1人)
合計 (29人、延べ194日)		

**(5) 面会者数**

延べ人数	一日平均人数
5,885人	16人

**(6) 人材育成**

研修内容	参加人数
初任者キャリアパス研修	1
新任職員フォローアップ研修	3
中堅職員キャリアパス研修	5
中堅職員フォローアップ研修	2
チームリーダーキャリアパス研修	3
管理者キャリアパス研修	1
計	15